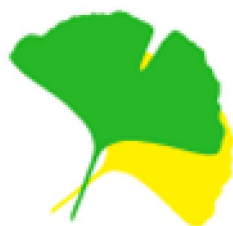


# 東大駒場友の会 第7回活動報告会 資料



日時：  
2023年6月10日（土）午後4時から

Zoom ウェビナーにて配信

# ① 令和 4（2022）年度事業報告

## I. 懇談会・講演会・演奏会などの開催（共催・協力行事）

### 1. 新入生保護者と教養学部長との懇談会（オンライン開催）

4月9日（土）、東大駒場友の会に入会した新入生保護者（申込み272名）を対象にオンライン形式（Zoom ウェビナー）で開催した。募集案内作成の時点（昨年末）では、駒場キャンパスでの開催と配信のハイブリッド形式の実施も検討したが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み森山学部長と協議し、3月上旬に全面オンライン形式の開催を決定しwebサイトを活用し新入生保護者に周知した。当日は学部長のご講演「駒場の魅力」に続き、「駒場キャンパスツアー・2020」映像の配信や当会も支援している駒場博物館（一高関連の特別展）、「駒場 SaferSpace」の紹介を通じ、新入生保護者に教養学部と駒場キャンパスを紹介した。人気の「キャンパスツアー」に替わるプログラムとして、20名ほどの教員の協力でブレイクアウトルームの機能を用い、保護者と教員、保護者同士、のコミュニケーションの時間を設けたほか、事務部の部課長紹介や質疑応答を行った。

### 2. 活動報告会（オンライン開催）

6月18日（土）第6回活動報告会を、同日開催の社員総会・理事会の主会場（教養学部アドミニストレーション棟、中会議室）からZoom ミーティングを用いて配信した。社員総会、理事会で認められた2021年度の事業報告および決算報告、2022年度の事業計画および予算について、参加（視聴）した会員に説明した。参加登録した会員は約40名。コロナ禍以前の恒例行事であった懇親会は、今回も開催を見合わせた。

### 3. 秋の講演会（オンライン開催）

10月22日（土）、第7回「秋の講演会」を開催した。3月に退職されるトム・ガリー先生による「駒場と英語と世界」には、会員だけでなく学生からも申込みがあり合わせて約70名の参加があった。駒場の英語教育を長く牽引してこられたガリー先生の講演は、駒場の教育研究活動の真髄に触れることを目的としたこの行事に相応しいものであった。

### 4. 味覚のアトリエ@駒場（ハイブリッド形式）

2023年1月21日（土）、ルヴェソンヴェールとの共催で、恒例の「味覚のアトリエ@駒場」を開催した。前年好評だったZoom ウェビナーでの配信（参加43名）とルヴェソンヴェール駒場での対面形式（参加52名）のハイブリッド方式とした。本学工学博士（法政大学名誉教授）の陣内秀信先生による講演会「イタリアのテリトリーオ戦略とエノガストロミア」に続き、伊藤文彰シェフによる調理実演とレクチャーを行い、「シャルキュトリー」をメインとしたコース料理を味わった。配信参加者には宅配便で当日の料理一式を届け、各自宅で食事ができるようにした。

## 5. 学事カレンダーの製作

学生・教職員対象に駒場キャンパスの四季を映した写真を募集し、写真コンクール形式で掲載する写真を選定し2023年度学事カレンダーを製作した。学事カレンダーは遠方の保護者の会員だけでなく教職員からも要望が多い。生協駒場店で販売(240部)したほか、会費の一括支払い推進と寄付協力者へのお礼としても活用した。

## 6. 音楽演奏会の共催と協賛

オルガン委員会、ピアノ委員会が主催した4つの演奏会を共催(または協賛)し、「駒場音楽振興基金」の会計事務を担った。

## 7. 社会連携委員会との協力

「金曜特別講座」基金の会計事務や会員への参加案内、受講希望者への対応を行った。2020年度から始まった社会連携委員会(金曜特別講座)事務補佐担当の総務課職員の配置により、駒場の教育活動への理解と協力を促進するための体制を継続した。

## II. 寄付事業の推進

「学生のための寄付」を実施し、会員有志や非入会の新入生保護者合わせてのべ519名から合計3,629,000円(予算比+629,000円)のご協力をいただいた。協力者に対し会長名の礼状と学事カレンダーを進呈した。

寄付支出については、従来通り駒場図書館への学生用図書寄贈や駒場博物館の広報活動への協力の他、駒場キャンパスの多様性、国際化の推進への協力を目指したD&Iの活動のためのプログラムに対しての支援も行った。支援を希望する学生団体を募り書類審査とオンライン面談を行い、支援先と金額を決定した。従来の駒場祭、五月祭への協賛と新入生諸手続き会場で配布するジェンダーに関する小冊子発行の印刷費支援を継続して行った。寄付支出合計は3,293,385円で会報やwebサイトを通じ使途の報告を行った。

### 《寄付先と金額》

駒場図書館学生用図書 999,907円、駒場博物館(特別展広報活動の支援) 655,655円、学生団体支援(Ted×UTokyo<sup>※1</sup>・HCAP<sup>※2</sup>・GNLF<sup>※3</sup>・海洋調査探検部<sup>※4</sup>)計 863,652円、駒場祭協賛 400,000円、五月祭協賛 230,000円、新入生への配布小冊子印刷 67,661円、駒場 SaferSpace 備品 36,800円、会員向け金曜講座チラシ印刷 39,710円

※1・・・TEDの公式ライセンスを受けカンファレンスイベントを運営する団体。

- ※2・・・ハーバード大との交流プログラムを実施し異文化交流を図る。今回のテーマは「大学の意義」。
- ※3・・・東大を中心とした学生団体「グローバル・ネクスト・リーダーズ・フォーラム」世界10カ国から学生や教員を招き国際会議を開いている。
- ※4・・・スキューバダイビングの活動を通じ、魚類調査を行いその地域の生物多様性保全への貢献を目指している。

### III. 広報活動

1. 会報第39号（2022年9月30日）、第40号（2023年3月15日）を発行した。

#### 第39号

2022年度教養学部長との懇談会について／社員総会・理事会と活動報告会について  
「東大駒場友の会」会長退任のあいさつ 浅島誠／会長就任のご挨拶 木畑洋一  
「すでに生きられている多様性」から学ぶ 清水晶子／ロシアのウクライナ侵攻と日本の今後の生き方 東大作／〔案内〕金曜講座2022年度・冬学期（A Semester）

#### 第40号

秋の行事のご報告 [味覚のアトリエ@駒場]、[秋の講演会—駒場と英語と世界] 受田宏之／AIと語る関東大震災 能登路雅子／900番教室（講堂）におけるパイプオルガン演奏会の再開を巡って ヘルマン・ゴチェフスキ／あのとき同じ教室にいたあなたへ 國頭真理子

2. webサイト <https://tomonokai.c.u-tokyo.ac.jp/> を活用し、広報を行った。

### IV. 会員の獲得

新規加入の働きかけを積極的に実施した。入学予定者宛の「諸手続書類」の封筒に入会案内と学部長懇談会チラシを同封し、保護者への勧誘活動を推進した。

#### 2022年4月1日の会員数

終身会員 166名、通常会員 342名、会友 2,071名（合計 2,713名）  
一高同窓会会員 133名、東高同窓会会員 58名

#### 2023年3月31日の会員数

終身会員 174名、通常会員 378名、会友 2,310名（合計 2,862名）  
一高同窓会会員 131名、東高同窓会会員 54名

### V. 会議の開催など（すべてオンライン開催）

1. 社員総会・理事会の開催

6月18日（土）に社員総会、理事会を開催し、事業報告、決算報告、事業計画、予

算案、役員改選について審議した。議事の内容は会報第 39 号で紹介した。

## 2. 事務局運営会議の定期開催

「事務局運営会議」を 6 月 14 日、10 月 31 日、(2023 年)1 月 23 日、4 月 10 日に開催し、友の会と教養学部との意見調整と情報共有を行った。

# ② 令和4(2022)年度決算報告

<一般会計>

## 収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1. 事業活動収入</b>					
(1) 会費収入	① 通常会員会費収入	1,600,000	1,815,000	△ 215,000	
	② 会友会費収入	6,900,000	6,924,000	△ 24,000	
	③ 終身会員会費収入	300,000	359,000	△ 59,000	
	会費収入計	8,800,000	9,098,000	△ 298,000	注1
(2) 寄付金収入	① 学生のための寄付金収入	3,200,000	3,629,000	△ 429,000	
	寄付金収入計	3,200,000	3,629,000	△ 429,000	
(3) 事業収入	① 保護者と教養学部長との懇談会	0	0	0	
	② 活動報告会	0	0	0	
	③ 食関連セミナー	250,000	274,500	△ 24,500	
	④ 秋の講演会	50,000	0	50,000	
	⑤ 秋の文化イベント(父母向け)	50,000	0	50,000	
	⑥ カレンダー事業	150,000	153,920	△ 3,920	
	事業収入計	500,000	428,420	71,580	
(4) その他収入	① 受取利息収入	200	141	59	
	② 雑収入	1,800	500	1,300	
	その他収入計	2,000	641	1,359	
事業活動収入 計		12,502,000	13,156,061	△ 654,061	
<b>2. 事業活動支出</b>					
(1) 事業費支出	① 給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
	② 臨時雇賃金支出	0	0	0	
	③ 福利厚生費支出	400,000	400,000	0	
	④ 会議費支出	200,000	65,480	134,520	
	⑤ 旅費交通費支出	10,000	0	10,000	
	⑥ 通信運搬費支出	800,000	735,830	64,170	
	⑦ 消耗品費支出	250,000	90,097	159,903	
	⑧ 印刷製本費支出	800,000	789,321	10,679	
	⑨ 賃借料支出	50,000	0	50,000	
	⑩ 委託費支出	600,000	594,551	5,449	
	⑪ 諸謝金支出	190,000	188,900	1,100	
	⑫ 寄付支出	3,500,000	3,293,385	206,615	
	⑬ 雑支出	40,000	7,755	32,245	
	事業費支出計	8,140,000	7,465,319	674,681	
(2) 管理費支出	① 給料手当支出	600,000	600,000	0	
	② 臨時雇賃金支出	0	0	0	
	③ 福利厚生費支出	10,000	5,214	4,786	
	④ 会議費支出	80,000	43,600	36,400	
	⑤ 旅費交通費支出	2,000	0	2,000	
	⑥ 通信運搬費支出	350,000	311,077	38,923	
	⑦ 消耗品費支出	150,000	52,929	97,071	
	⑧ 印刷費支出	130,000	124,986	5,014	
	⑨ 光熱水料費支出	160,000	156,075	3,925	
	⑩ 事務室賃借料支出	220,000	215,876	4,124	
	⑪ 会員証作成費支出	400,000	290,263	109,737	
	⑫ 入会勧誘活動費支出	200,000	194,293	5,707	
	⑬ 会費等振込料負担金支出	730,000	727,281	2,719	
	⑭ 委託報酬支出	1,110,000	1,109,778	222	
	⑮ 雑支出	10,000	4,290	5,710	
	管理費支出計	4,152,000	3,835,662	316,338	
事業活動支出 計		12,292,000	11,300,981	991,019	
事業活動収支差額		210,000	1,855,080	△ 1,645,080	
<b>II 投資活動収支の部</b>					
<b>1. 投資活動収入</b>					
投資活動収入 計		0	0	0	
<b>2. 投資活動支出</b>					
(1) 固定資産取得支出	① ソフトウェア取得支出	1,000,000	0	1,000,000	注2
投資活動支出 計		1,000,000	0	1,000,000	
投資活動収支差額		△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>					
<b>1. 財務活動収入</b>					
財務活動収入 計		0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>					
財務活動支出 計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>					
予備費支出 計		(140,000)	860,000	860,000	注3
税引前当年度収支差額		△ 1,650,000	1,855,080	△ 3,505,080	
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000	0	
当年度収支差額		△ 1,720,000	1,785,080	△ 3,505,080	
前年度繰越収支差額		10,684,143	10,684,143	0	
次年度繰越収支差額		8,964,143	12,469,223	△ 3,505,080	

注1: 会費収入に含まれている前年度前受金額は、通常会員会費収入770,000円、会友会費収入2,992,000円です。

注2: 新WEBサイトの構築が遅れており、支出は2023年度に持ち越し

注3: 予備費使用額◆事業費支出: 諸謝金支出40,000

◆管理費支出: 福利厚生費支出10,000 印刷費支出10,000 光熱水費支出40,000 会費等振込料負担金支出30,000 委託費支出10,000

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金・預金、貯藏品、前払金及び前受金を含めている。  
 なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 ・ 預 金	14,318,467	16,098,570
貯 蔵 品	299,676	140,653
前 払 金	0	0
合 計	14,618,143	16,239,223
前 受 金	3,934,000	3,770,000
合 計	3,934,000	3,770,000
次年度繰越収支差額	10,684,143	12,469,223

貯藏品内訳	ロゴ入り封筒	73,333	
	ベースカード	67,320	(22,440×3)
	貯藏品計	<u>140,653</u>	

3. 事業区分別の収入・事業費の内訳は以下の通りです。

(単位：円)

勘定科目	①懇談会事業	②活動報告会	③食セミナー事業	④秋の講演会	⑤父母向けイベント	⑥カレンダー事業	⑦会報事業	⑧寄付事業	事業共通費	合 計
1. 事業活動収入										
(2) 寄付金収入	0	0	274,500	0	0	0	0	3,629,000	0	3,903,500
(3) 事業収入	0	0	0	0	0	153,920	0	0		153,920
事業活動収入 計	0	0	274,500	0	0	153,920	0	3,629,000	0	4,057,420
2. 事業活動支出										
(1) 事業費支出										
① 給料手当支出	0								1,300,000	1,300,000
② 臨時雇賃金支出	0									0
③ 福利厚生費支出	0								400,000	400,000
④ 会議費支出	17,480		48,000							65,480
⑤ 旅費交通費支出	0									0
⑥ 通信運搬費支出	19,140		11,770						22,110	735,830
⑦ 消耗品費支出	12,994		3,770						73,333	90,097
⑧ 印刷製本費支出	0		20,469	6,795		349,250	349,557	63,250		789,321
⑨ 賃借料支出	0									0
⑩ 委託費支出	0		500,000				94,551			594,551
⑪ 諸謝金支出	17,700		61,480	30,000		70,000	9,720			188,900
⑫ 寄付支出	0							3,293,385		3,293,385
⑬ 雑支出	165		825				330	6,435		7,755
事業活動支出 計	67,479	0	646,314	36,795	0	419,250	1,029,784	3,470,254	1,795,443	7,465,319
収支差額	△ 67,479	0	△ 371,814	△ 36,795	0	△ 265,330	△ 1,029,784	158,746	△ 1,795,443	△ 3,407,899

## 2022年度 貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部				II 負債の部			
1 流動資産				1 流動負債			
現金預金	16,098,570	14,318,467	1,780,103	会費等前受金	3,770,000	3,934,000	△ 164,000
貯蔵品	140,653	299,676	△ 159,023	流動負債合計	3,770,000	3,934,000	△ 164,000
前払金	0	0	0	2 固定負債			
流動資産合計	16,239,223	14,618,143	1,621,080	固定負債合計	0	0	0
2 固定資産				負債合計	3,770,000	3,934,000	△ 164,000
(1) 特定資産							
駒場音楽振興基金	2,112,141	2,107,320	4,821	III 正味財産の部			
金曜特別講座基金	1,908,789	1,895,573	13,216	正味財産合計			
特定資産合計	4,020,930	4,002,893	18,037		16,490,153	14,687,036	1,803,117
(2) その他固定資産							
その他固定資産合計	0	0	0	負債及び正味財産合計	20,260,153	18,621,036	1,639,117
固定資産合計	4,020,930	4,002,893	18,037				
資産合計	20,260,153	18,621,036	1,639,117				



# 財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位：円)

勘 定 科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金	0	
普通預金	10,098,570	
三井住友銀行渋谷駅前支店	832,949	
ゆうちょ銀行振替口座	9,265,621	
定期預金	6,000,000	
三井住友銀行渋谷駅前支店	6,000,000	
<b>現金預金合計</b>	<b>16,098,570</b>	
貯蔵品（封筒等）	140,653	
<b>流動資産合計</b>		16,239,223
2 固定資産		
(1) 特定資産		
駒場音楽振興基金		
普通預金：三井住友銀行渋谷駅前支店	2,112,141	
金曜特別講座基金		
普通預金：三井住友銀行渋谷駅前支店	1,908,789	
<b>特定資産合計</b>	<b>4,020,930</b>	
(2) その他固定資産		
<b>その他固定資産合計</b>	<b>0</b>	
<b>固定資産合計</b>		<b>4,020,930</b>
<b>資産合計</b>		<b>20,260,153</b>
II 負債の部		
1 流動負債		
会費等前受金	3,770,000	
通常会員会費前受金	750,000	
会友会費前受金	3,020,000	
<b>流動負債合計</b>		<b>3,770,000</b>
<b>負債合計</b>		<b>3,770,000</b>
III 正味財産		16,490,153

## 財 務 諸 表 の 注 記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO会計法人基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正  
NPO会計法人基準協議会）によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

定額法により固定資産の帳簿価額を直接減額して表示しています。

#### (1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

### 2. 重要な会計方針の変更

該当ありません。

### 3. 役員及びその近親者との取引の内容

該当ありません。

<駒場音楽振興基金特別会計>

収 支 計 算 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
(1) 寄付金収入				
① コンサート・演奏会寄付金収入	50,000	112,593	△ 62,593	
寄付金収入	50,000	112,593	△ 62,593	
(2) その他収入				
① 受取利息収入	20	18	2	
その他収入計	20	18	2	
事業活動収入 計	50,020	112,611	△ 62,591	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
① 会場設営費支出	5,000	0	5,000	
② 宿泊費支出	25,000	0	25,000	
③ 懇親会補助支出	75,000	87,680	△ 12,680	
④ 雑支出	3,000	20,110	△ 17,110	
事業費支出 計	108,000	107,790	210	
事業活動支出 計	108,000	107,790	210	
事業活動収支差額	△ 57,980	4,821	△ 62,801	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
① 音楽基金取崩収入	108,000	0	108,000	
投資活動収入 計	108,000	0	108,000	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
① 音楽基金取得支出	50,020	4,821	45,199	
投資活動支出 計	50,020	4,821	45,199	
投資活動収支差額	57,980	△ 4,821	62,801	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入 計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出 計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>				
税引前当年度収支差額	0	0	0	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当年度収支差額	0	0	0	
前年度繰越収支差額	0	0	0	
次年度繰越収支差額	0	0	0	

**特別基金増減額 4,821**

口座期首残高	2,107,320
口座現在残高	2,112,141

<金曜特別講座基金特別会計>

収 支 計 算 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
(1) 寄付金収入	①印税収入	20,000	13,200	6,800
(2) その他収入	①受取利息収入	20	16	4
事業活動収入 計		20,020	13,216	6,804
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	①通信運搬費支出	100,000	0	100,000
	②懇親会補助支出	0	0	0
事業活動支出 計		100,000	0	100,000
事業活動収支差額		△ 79,980	13,216	△ 93,196
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	①金曜特別講座基金取崩収入	100,000	0	100,000
投資活動収入 計		100,000	0	100,000
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	①金曜特別講座基金取得支出	20,020	13,216	6,804
投資活動支出 計		20,020	13,216	6,804
投資活動収支差額		79,980	△ 13,216	93,196
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入 計		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出 計		0	0	0
財務活動収支差額		0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>				
税引前当年度収支差額		0	0	0
法人税、住民税及び事業税		0	0	0
当年度収支差額		0	0	0
前年度繰越収支差額		0	0	0
次年度繰越収支差額		0	0	0

**特別基金増減額 13,216**

口座期首残高	1,895,573
口座現在残高	1,908,789

一般社団法人 東大駒場友の会会長  
木畑 洋一 殿

一般社団法人 東大駒場友の会の 2022 年度（令和 4 年度）決算報告書について、入金伝票、支払伝票、銀行預金通帳、振替受払通知票に照らし監査した結果、適切なものと認めます。

2023 年 5 月 31 日

一般社団法人 東大駒場友の会 監事

大岸 良恵   
大岸 良恵

河野 俊丈   
河野 俊丈



## ③ 令和 5 (2023) 年度事業計画

### I. 懇談会・講演会・演奏会などの開催

#### 1. 新入生保護者と教養学部長との懇談会（実施済）

4月15日（土）、1323番教室に於いて、今年度入会した新入生保護者のみならず、この3年間キャンパスに来場することができなかった2020～2022年度入学の在校生の保護者にも参加枠を広げ、来場申込み450名、配信視聴130名を対象にハイブリッド形式（Zoomウェビナー）で開催した。4年ぶりの駒場キャンパスでの開催は、「昼食パーティー」の実施は見合わせたものの、木畑会長あいさつ、数理科学研究科長の齋藤毅先生のお話につき、教養学部長真船文隆先生のご講演「駒場の魅力」、事務部長と6課長の紹介、学生と関わりの深い進学情報センター・学生相談所・SaferSpace・ハラスメント相談所からの説明、金曜特別講座の案内、を行い2019年度まで実施していたプログラムをほぼ再開することができた。来場参加者は約30名の教員の引率でキャンパス内を巡り、配信視聴者には「駒場キャンパスツアー2020」の映像と駒場博物館の折茂克哉助教によるキャンパスの歴史解説を通じ、「オンラインキャンパスツアー」を楽しんでいただいた。

#### 2. 講演会等の開催

「秋の講演会」をはじめとした行事は、今後の感染状況によるものの極力キャンパスでの開催を目指す。その一方でコロナ禍以前に課題であった遠方の会員のオンラインによる行事への参加も継続して行えるようイベント内容や方式を検討しながら企画する。Webサイトを活用し対面での行事を会員限定に公開するとともにアーカイブとしての機能も果たしていく。学部と協議しながら「多様性」の枠で、ジェンダー、障害、LGBTQ、などのテーマについて検討中である。卒業生会員、在校生、保護者、教職員の交流の機会となるような文化行事を行う。

また、大学内の各機関や他団体と協力しつつ駒場の教育研究活動への関心を高め、学部等への寄付支援につなげることを目指す。学部や研究室等主催の社会連携的文化行事の円滑な運営に協力する。

#### 3. 「味覚のアトリエ@駒場」

フランスの食育イベント「味覚の一週間」の一環として、これまでルヴェソンヴェールとの共催で行ってきた「味覚のアトリエ@駒場」であるが、ルヴェソンヴェール伊藤氏から「フランス農事功労者協会（MOMAJ）」と連携した新しい形式の提案を受けた。

学生への食育を主目的として始めたこのイベントの趣旨に立ち返りつつ、学生だけでなく会員の参加も受け入れる。参加者の問題意識や興味関心に応えるプログラムを企画段階から協力団体と進めていく。

#### 4. 「学事カレンダー」の製作

保護者の会員からの要望が多い「学事カレンダー」の製作を継続する。新入生保護者に対して会費一括納入の推進をはかる他、寄付協力者へのお礼として活用する。生協店頭で販売することにより学生に対して当会の広報をする。

## 5. 音楽活動、金曜特別講座への協力

教養学部オルガン委員会、ピアノ委員会が開催する演奏会を共催・協賛する。「駒場音楽振興基金」を活用する。

「金曜特別講座」の配信は地方の高校生（特に女子生徒）への広報の重要な機会となっているほか、卒業生・保護者を中心とした社会人からも受講の希望があり、現在は当会会員の特典として会員を参加対象としている。今後も大学によるリカレント教育として「金曜特別講座」を運営する社会連携委員会に協力し、事務補佐担当職員の配置による「金曜講座基金」の活用等、駒場の教育活動に対し学外からの理解と支援を促進するための体制を継続する。

## 6. 「QOM ジム」との提携の再開

2019年度まで会員に対して使用料の割引制度があったが、QOM ジム側の運営体制の変更やコロナ禍において学外者の入構制限もあり停止されていた。今年度、QOM ジムを運営する一般社団法人東大駒場 QOM クラブより申し出があり割引制度についての「合意書」を取り交わし（5月31日）、会員への特典を再開した。

## II. 寄付事業の推進

「学生のための寄付」として寄せられる寄付金を活用し、従来同様、駒場図書館への図書寄贈、駒場博物館や社会連携委員会による「大学生と高校生のための金曜特別講座」の広報活動の支援、学生支援課からの希望や、教員からの要望をもとに教養学部への寄付を継続し、駒場キャンパス、三鷹国際学生宿舎等の教育研究の環境の向上と多様化に協力する。

東大駒場友の会の趣旨に則り、駒場キャンパスの多様化をめざす学生団体・教員等の活動への補助を行う。具体的には駒場祭、五月祭への協賛を行う他、教育文化活動への支援を希望する学生団体、教員からの企画等に関し、事務局定例会議で支援先と支援額を審議決定していく。

## III. 広報活動

### 1. 会報第41号の発行（9月）

内容は以下の予定。

- 「新入生保護者と教養学部長との懇談会」報告
- 社員総会・理事会・活動報告会報告
- 会員等からの寄稿

### 2. 会報第42号の発行（3月）

内容は以下の予定。

- 主催行事報告
- 講演会、演奏会等報告
- 会員等からの寄稿

### 3. web サイト（7月にリニューアルオープン）の活用

予てより準備を進めてきた新 web サイトを活用し、情報の発信力や会員にとっての利便性を向上させ、事務局の業務効率化を推進する。当会の活動の意義についての理解を求め、教養学部の教育研究の紹介と発信の一端を担うものとし、さらなる充実と更新をすすめ、新たな会員の入会や寄付を募る。

## IV. 社員総会・理事会や各委員会の開催

### 1. 社員総会・理事会

6月10日（土）に社員総会・理事会をオンライン形式で開催し、前年度事業報告と決算報告、今年度事業計画と予算案などの審議を行う。同日、第7回活動報告会をオンライン形式で開催する。会員の懇親会は中止とする。

### 2. 事務局運営会議の開催

従来通り四半期ごとに開催する。東大駒場友の会事務局の役員、教職員、真船文隆総合文化研究科長、斎藤毅数理科学研究科長、小枝総務課長、にて審議する。

第1回は、オンライン形式（Zoom ウェビナー）で開催済（6月1日）。



# ④令和5(2023)年度予算案

<一般会計>

## 収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	増減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1. 事業活動収入</b>					
(1) 会費収入	①通常会員会費収入	1,800,000	1,600,000	200,000	
	②会友会費収入	7,000,000	6,900,000	100,000	
	③終身会員会費収入	400,000	300,000	100,000	
	会費収入計	9,200,000	8,800,000	400,000	
(2) 寄付金収入	①学生のための寄付金収入	3,500,000	3,200,000	300,000	
	寄付金収入計	3,500,000	3,200,000	300,000	
(3) 事業収入	①保護者と教養学部長との懇談会	0	0	0	
	②活動報告会	0	0	0	
	③食関連セミナー	100,000	250,000	△ 150,000	
	④秋の講演会	50,000	50,000	0	
	⑤秋の文化イベント(父母向け)	50,000	50,000	0	
	⑥カレンダー事業	160,000	150,000	10,000	
	事業収入計	360,000	500,000	△ 140,000	
(4) その他収入	①受取利息収入	200	200	0	
	②雑収入	1,800	1,800	0	
	その他収入計	2,000	2,000	0	
事業活動収入計		13,062,000	12,502,000	560,000	
<b>2. 事業活動支出</b>					
(1) 事業費支出	①給料手当支出	2,000,000	1,300,000	700,000	
	②臨時雇賃金支出	0	0	0	
	③福利厚生費支出	300,000	400,000	△ 100,000	
	④会議費支出	100,000	200,000	△ 100,000	
	⑤旅費交通費支出	10,000	10,000	0	
	⑥通信運搬費支出	800,000	800,000	0	
	⑦消耗品費支出	100,000	250,000	△ 150,000	
	⑧印刷製本費支出	800,000	800,000	0	
	⑨賃借料	50,000	50,000	0	
	⑩委託費支出	600,000	600,000	0	
	⑪諸謝金支出	200,000	150,000	50,000	
	⑫寄付支出	3,700,000	3,500,000	200,000	
	⑬雑支出	40,000	40,000	0	
	事業費支出計	8,700,000	8,100,000	600,000	
(2) 管理費支出	①給料手当支出	1,000,000	600,000	400,000	
	②臨時雇賃金支出	0	0	0	
	③福利厚生費支出	150,000	0	150,000	
	④会議費支出	80,000	80,000	0	
	⑤旅費交通費支出	2,000	2,000	0	
	⑥通信運搬費支出	350,000	350,000	0	
	⑦消耗品費支出	100,000	150,000	△ 50,000	
	⑧印刷費	150,000	120,000	30,000	
	⑨光熱水料費支出	200,000	120,000	80,000	
	⑩事務室賃借料支出	220,000	220,000	0	
	⑪会員証作成費支出	400,000	400,000	0	
	⑫入会勧誘活動費支出	200,000	200,000	0	
	⑬会費等振込料負担金支出	750,000	700,000	50,000	
	⑭委託報酬支出	1,220,000	1,100,000	120,000	
	⑮雑支出	10,000	10,000	0	
	管理費支出計	4,832,000	4,052,000	780,000	
事業活動支出計		13,532,000	12,152,000	1,380,000	
事業活動収支差額		△ 470,000	350,000	△ 820,000	
<b>II 投資活動収支の部</b>					
<b>1. 投資活動収入</b>					
投資活動収入計		0	0	0	
<b>2. 投資活動支出</b>					
(1) 固定資産取得支出	①ソフトウェア取得支出	1,700,000	1,000,000	700,000	
投資活動支出計		1,700,000	1,000,000	700,000	
投資活動収支差額		△ 1,700,000	△ 1,000,000	△ 700,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>					
<b>1. 財務活動収入</b>					
財務活動収入計		0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>					
財務活動支出計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>					
予備費支出計		1,000,000	1,000,000	0	
税引前当期収支差額		△ 3,170,000	△ 1,650,000	△ 1,520,000	
法人税、住民税及び事業税		70,000	70,000	0	
当年度収支差額		△ 3,240,000	△ 1,720,000	△ 1,520,000	
前年度繰越収支差額		12,469,223	10,684,143	1,785,080	
次年度繰越収支差額		9,229,223	8,964,143	265,080	

< 駒場音楽振興基金特別会計 >

収 支 予 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>					
1. 事業活動収入					
(1) 寄付金収入	① コンサート・演奏会寄付金収入	150,000	50,000	100,000	
	寄付金収入	150,000	50,000	100,000	
(2) その他収入	① 受取利息収入	20	20	0	
	その他収入計	20	20	0	
事業活動収入 計		150,020	50,020	100,000	
2. 事業活動支出					
(1) 事業費支出	① 会場設営費支出	20,000	5,000	15,000	
	② 宿泊費支出	25,000	25,000	0	
	③ 懇親会補助支出	100,000	75,000	25,000	
	④ 雑支出	25,000	3,000	22,000	
	事業費支出計	170,000	108,000	62,000	
事業活動支出 計		170,000	108,000	62,000	
事業活動収支差額		△ 19,980	△ 57,980	38,000	
<b>II 投資活動収支の部</b>					
1. 投資活動収入					
(1) 特定資産取崩収入	① 音楽基金取崩収入	170,000	108,000	62,000	
投資活動収入 計		170,000	108,000	62,000	
2. 投資活動支出					
(1) 特定資産取得支出	① 音楽基金取得支出	150,020	50,020	100,000	
投資活動支出 計		150,020	50,020	100,000	
投資活動収支差額		19,980	57,980	△ 38,000	
<b>III 財務活動収支の部</b>					
1. 財務活動収入					
財務活動収入 計		0	0	0	
2. 財務活動支出					
財務活動支出 計		0	0	0	
財務活動収支差額		0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>					
税引前当期収支差額		0	0	0	
法人税、住民税及び事業税		0	0	0	
当期収支差額		0	0	0	
前年度繰越収支差額		0	0	0	
次年度繰越収支差額		0	0	0	

収 支 予 算 書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
(1) 寄付金収入	①印税収入	20,000	20,000	0
(2) その他収入	①受取利息収入	20	20	0
事業活動収入 計		20,020	20,020	0
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	①通信運搬支出	100,000	100,000	0
	②懇親会補助支出	0	0	0
事業費支出 計		100,000	100,000	0
事業活動支出 計		100,000	100,000	0
事業活動収支差額		△ 79,980	△ 79,980	0
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入	①金曜講座基金取崩収入	100,000	100,000	0
投資活動収入 計		100,000	100,000	0
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出	①金曜講座基金取得支出	20,020	20,020	0
投資活動支出 計		20,020	20,020	0
投資活動収支差額		79,980	79,980	0
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入				
財務活動収入 計		0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出 計		0	0	0
財務活動収支差額		0	0	0
<b>IV 予備費支出</b>				
税引前当期収支差額		0	0	0
法人税、住民税及び事業税		0	0	0
当期収支差額		0	0	0
前年度繰越収支差額		0	0	0
次年度繰越収支差額		0	0	0

## ⑤ その他

### \* 会員資格の喪失

資格喪失者

- ・ 通常会員 . . . . . 13名
- ・ 会友会員 . . . . . 227名

※ 定款

(資格の喪失)

第11条

- (1) 会費の納入が3年以上なされなかったとき。

### \* その他

# 役員（任期 2 年目）

## 2022 年度 2023 年度 東大駒場友の会役員および理事

(2022 年 6 月 18 日 第 7 回社員総会議決)

【理事】（会長）木畑洋一  
（副会長）板東久美子\* 古田元夫\*  
浅島誠 石田淳 岩田喜美枝 小川桂一郎  
川合眞紀 小島憲道 小林寛道\* 斎藤毅 坪井俊  
能登路雅子 蓮實重彦 長谷川壽一 早川眞一郎 増田浩一  
松本健 受田宏之\*(常務理事) \*のついた理事は、業務執行理事

【監事】 大岸良恵 河野俊丈

【社員】 木畑洋一 板東久美子 古田元夫 浅島誠 石田淳  
岩田喜美枝 小川桂一郎 川合眞紀 小島憲道 小林寛道  
斎藤毅 坪井俊 能登路雅子 長谷川壽一 早川眞一郎  
増田浩一 松本健 受田宏之

※理事、監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する  
定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任を妨げない。(定款第 24 条)

【顧問】 真船文隆 (2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

※原則として、東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長の現職者に顧問就任を委嘱する。  
顧問の任期は 2 年とする。ただし再任を妨げない。(定款第 27 条)

※研究科は、友の会の求めに応じ、兼業の手続きを経て、東京大学大学院総合文化研究科長・  
教養学部長の現職者が、友の会の顧問(定款第 27 条)に就任することを認める。(協定書)